

# CentreCOM® 8216FXL/SC リリースノート

この度は、CentreCOM 8216FXL/SC をお買いあげいただき、誠にありがとうございました。  
このリリースノートは、付属のマニュアルに記載されていない内容や、ご使用前にご理解いた  
だきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。  
最初にこのリリースノートをよくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

## 1 ソフトウェアバージョン 2.0.0J

### 2. 本バージョンで修正された項目

本バージョンでは、前バージョン( 1.2.10J )から以下の項目が修正されました。


- 2.1 VLANの設定時に、複数のVLAN ID (ID)を設定した場合、VLAN名(VLAN Name)が正しくリスト表示されない場合がありますでしたが、これを修正しました。
- 2.2 ポートランキング機能において、ランキンググループの次のポート(1~4ポートでトランキンググループを構成した場合、ポート5がこれに該当)が、他のポートで受信したソースアドレス未学習のユニキャストパケットを送信しない問題がありましたでしたが、これを修正しました。
- 2.3 スパニングツリー機能を他社製品との組み合わせにおいて使用した場合、接続先の機器から受信した65Byte以上のBPDUを正しく認識できない問題がありましたでしたが、これを修正しました。
- 2.4 マネージメントポートから送信されるARP requestパケットをDefault VLAN以外のポートにも送信してしまう問題がありましたでしたが、これを修正しました。
- 2.5 システム管理(Administration)メニュー内[ Diagnostics ]オプションを選択して表示される画面のシステムの稼働経過時間(例:「Running 2 days, 3 hours, 4 minutes, 5 seconds」) およびSNMP RFC1213 MIBオブジェクト[SystemUpTime]の値が正しく表示されない場合がありますでしたが、これを修正しました。
- 2.6 AT-A14(1000BASE-T 拡張モジュール)のリリースにともない、1000BASE-X/1000BASE-Tアップリンクポートのデフォルトポート名「Uplink Port x(GB)」を、それぞれ「Uplink Port x(G/T)」(= AT-A14)、「Uplink Port x(G/X)」(= AT-A15)に変更し、画面上で区別ができるよう修正しました。(なお、AT-A14は現在未サポートとなっています。)
- 2.7 下記オプションにおいて、ネットワーク上の他のシステムを「MACアドレス(Ethernet address)」によって指定できない問題がありましたでしたが、これを修正しました。

ソフトウェアのダウンロード(ネットワーク上のシステム)「Update software in another system」  
リモートシステムへの接続「Connect to a remote system」  
Pingテスト「Ping a remote system」

### 3. 本バージョンでの制限事項

---

#### 3.1 RMON 機能について


 「オペレーションマニュアル」2-16 ~ 2-17 ページ

RMON alarm, event は、現在未サポートとなっています。あらかじめご了承ください。


#### 3.2 スタティック MAC アドレステーブルについて

以下の機能は、現在未サポートとなっています。あらかじめご了承ください。


スタティック MAC アドレス表示 「All Static MAC Addresses」

 「オペレーションマニュアル」2-94 ページ


スタティック MAC アドレスの追加・消去 「Add MAC address/Delete MAC address」

 「オペレーションマニュアル」2-96 ~ 2-99 ページ


マルチキャストアドレスの追加・削除 「Add MAC address/Delete MAC address」

 「オペレーションマニュアル」2-101 ~ 2-104 ページ

スタティック MAC テーブルの消去 「Clear static MAC table」


 「オペレーションマニュアル」2-105 ページ

#### 3.3 1000BASE-X/1000BASE-T アップリンクポートのポートランキング機能について

 「オペレーションマニュアル」2-52 ~ 2-54 ページ

1000BASE-X/1000BASE-T アップリンクポートにおいて、ポートランキング機能は未サポートとなっております。

#### 3.4 1000BASE-X アップリンクポートのポートミラーリング機能について

 「オペレーションマニュアル」2-55 ~ 2-57 ページ

本製品のソフトウェア(プロトコルスタック部分)から送信されるパケット(BPDU、ARP reply、trap など)は、ミラーリングされません。

#### 3.5 スパニングツリー機能について

IGMP スヌーピングが動作している環境で、スパニングツリー機能を使用することはできません。IGMP スヌーピング機能とスパニングツリー機能は併用しないでください。

#### 3.6 SNMP 機能について

[ Administration ] メニューの [ Reset and restart the system ] 実行時(ソフトウェアリセット時)に出力されるトラップは、coldStart です。


---

### 3.7 設定変更時のご注意

システムの設定変更(ミラーリング機能設定をのぞく)を行った後は、[ Main Menu ] -> [ Administration ] とすすみ、[ Reset and restart the system ]メニューを実行し、システムをリセットしてください。

---


### 3.8 Xmodem ダウンロード機能について

 「オペレーションマニュアル」2-26 ~ 2-27 ページ

[ XModem software update to this system ]メニューを実行後、ソフトウェアのダウンロードをやむをえず中断する場合は、電源ケーブルを接続しなおしてください。

---


### 3.9 送信フレームの統計情報「Multicasts」について

 「オペレーションマニュアル」2-14 ~ 2-15 ページ

[ Ethernet statistics ]メニューの「Transmit Statistics Graph」画面 / 「Total Good Transmits」画面において、他のポートで受信したソースアドレス未学習のユニキャストパケットは、「Multicasts」としてカウント表示されます。

---

### 3.10 Ping テストについて

 「オペレーションマニュアル」2-29 ページ


Ping テストにおいて、対象となる機器が接続されているポートのケーブルを抜き差しした後、[ Ping a remote system ]を実行した場合、最長で約10分間通信ができなくなることがあります。

---

## 4. マニュアルの誤記訂正

---

### 4.1 VLAN 最大設定数について

 「オペレーションマニュアル」2-58 ページ

VLAN 最大設定数の表記に誤りがありました。以下のとおり訂正してお詫びいたします。

Ⓔ 2,047 個

Ⓕ 254 個

